

インドネシア共和国バリ州・スマラン市-富山市に関する都市間連携

バリ州は世界的な観光地であり、悪化している環境改善のため、環境対策プログラムや政策を推進している。なかでも、交通由来のCO₂排出や大気汚染が重点課題であり、同州エネルギー総合計画では交通分野でのガスの利用や再生可能エネルギー開発を拡大することが掲げられている。そこで、バリ州はディーゼル燃料の天然ガス転換による課題解決のため、国営ガス会社Pertamina Gasに供給インフラの整備を要請するとともに、スマラン市において公共交通燃料転換事業を組成した富山市に政策、技術的支援を要請。



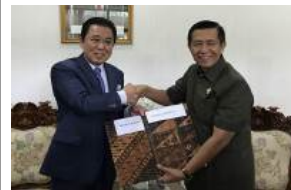
インドネシア共和国バリ州・スマラン市

- 交通由来CO₂排出、大気汚染課題
- 再生可能エネルギー普及課題



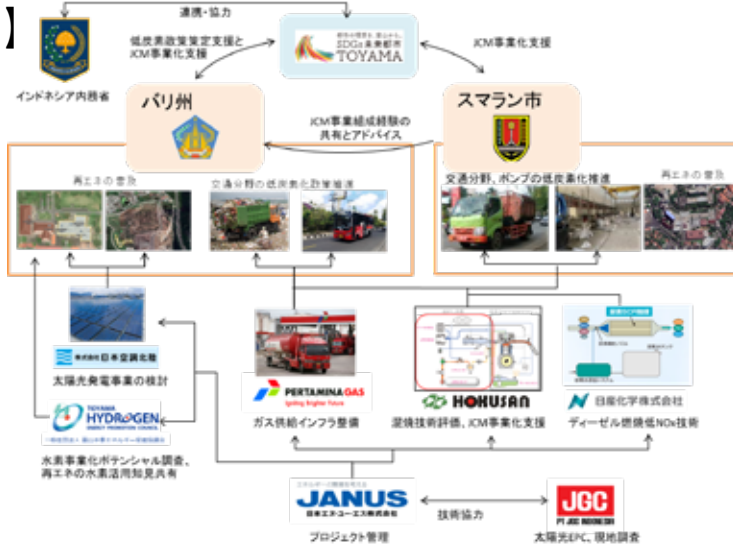
富山市

- SDGs未来都市
- ゼロカーボンシティ表明
- コンパクトシティ政策
- 水素、再エネ技術の活用
- バリ州、スマラン市と協力協定



インドネシア共和国バリ州・スマラン市-富山市に関する都市間連携

【体制】



【事業活動】

- ガス供給会社Pertamina Gas社と連携 MoU締結
- 20回程度のオンライン会議
- スマラン市においてはガスステーションが開所、JCM設備補助事業（2019年）の円滑な実施に向け各種調整
- 富山市オンラインツアーの開催、水素の取組紹介

【成果】

- 関係各所への働きかけによるスマラン市ガスステーションの早期開所を実現。残り3か所の稼働にも働きかけを実施。
- バリ州における脱炭素燃料の選択肢として、水素利用への関心表明を得る
- 駐日インドネシア大使館の協力を得て、バリ州と水素セミナーを開催。中央省庁、民間企業、研究機関など現地から100名程度の参加を得る。

【会議・セミナーの様子】



▲ 富山市-バリ州 水素セミナー

◀ 開催案内



▲ スマラン市政庁 次官との会議



◀ スマラン市ガスステーション開所の様子